

介護 なんでも 相談室



松永安優美 まつながあゆみ
栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q 家内が嘆いていることで相談します。86歳になる家内の母親とその介護についてです。家内の母親は軽い認知症になり、隣町の有料老人ホームに入っています。最近、担当だった女性の介護スタッフが辞めてしまいました。とても明るくて働き者の娘さんで、うちの家内も「よかった、おかあさんも楽しそう」と気に入っていました。見舞いに行った折には、その娘さんに感謝の意味でお小遣いも渡していたそうです。それだけに残念でならないと嘆いています。聞いたところでは、仕事の大変さと給料が見合わなくて娘さんは辞めたとのこと。老人ホームのスタッフの給料はそんなに安いのですか？ なぜ、いい人が定着できないのですか？ 政策的に何か問題があるのですか？

A 介護施設の職遠しい員は、特る若い人が多いとも聞き別養護老人ホームです。そうなること、施設ムなどでは介護保険制度によって人手不足からが始まる前まで、給与は職員一人一人の仕事量が公務員並みのところが多かったようです。施設の規模やオーナーの考え方で、給与の設定には違いがあり、経営状況の良し悪しは利用者の利用状況によっても左右されます。しかし、介護の仕事は要介護者を助け、ともに喜ぶことを意気に感じ、誇り高い仕事だと思っしてしないと、長く続けることは難しいともいえます。

介護施設の職遠しい員は、特る若い人が多いとも聞き別養護老人ホームです。そうなること、施設ムなどでは介護保険制度によって人手不足からが始まる前まで、給与は職員一人一人の仕事量が公務員並みのところが多かったようです。施設の規模やオーナーの考え方で、給与の設定には違いがあり、経営状況の良し悪しは利用者の利用状況によっても左右されます。しかし、介護の仕事は要介護者を助け、ともに喜ぶことを意気に感じ、誇り高い仕事だと思っしてしないと、長く続けることは難しいともいえます。

最近では国の財政悪化から介護福祉の予算が減額されている関係で、施設職員に個別に謝礼をするに職員数を減らしているところもあります。また、福祉施設などでの事件が大きなニュースになり、職員の待遇がよくなると報道されているので、この仕事に就くことを敬と

最後に、蛇足ですが、職員に個別に謝礼をするに職員数を減らしているところもあります。また、福祉施設などでの事件が大きなニュースになり、職員の待遇がよくなると報道されているので、この仕事に就くことを敬と